

Karin 族の多色測光観測

A Photometric Color Study of Karin family

高橋 茂[1]; 吉田 二美[2]; 伊藤 孝士[3]; Ip Wing-Huen[4]; Chen Weng-Ping[4]; Mansur A. Ibrahimov[5]
Shigeru Takahashi[1]; Fumi Yoshida[2]; Takashi Ito[3]; Wing-Huen Ip[4]; Weng-Ping Chen[4]; A. Ibrahimov Mansur[5]

[1] 野辺山宇宙電波; [2] NAOJ; [3] 国立天文台・データ解析センター; [4] NCU; [5] ウズベク 科学アカデミー
[1] NRO; [2] NAOJ; [3] ADAC, NAO, Japan; [4] NCU; [5] Ulugh Beg Astronomical Institute, Uzbekistan

Karin 族は、Nesvorny et al. による理論的研究(Nature 2002)によって示唆されている小惑星族である。Karin 族の形成年齢は5.8 Myr 程と見積もられており、他の小惑星族(~ 2Gyr)よりはるかに若い年齢であるとされている。そのため、Karin 族の力学的、ならびに表面の性質は、族形成時の情報を比較的保持しているものと考えられており、精力的な観測が行われてきている。

我々は2003年より、Karin 族の基礎的なデータを取得すべく、台湾・鹿林天文台、アリゾナ・バチカン天文台、ウズベキスタン・マイダナック天文台、英国赤外線望遠鏡などで、可視から近赤外での測光観測を行ってきており、自転周期、カラーなどに関するデータを取得してきている。今学会では、特に Karin 族のカラーに関して報告する予定である。